

「待つ勇気ある、とっても素敵な係わり合い方に拍手！」等へのコメント

HPの「待つ勇気ある、とっても素敵な係わり合い方に拍手!」、並びに「『待つ勇気』の意味すること」の記事を目にいただいたメル友から、早速次のような感想をいただいていますので、紹介します。

2006. 10. 4. 阿部幸泰

⑧「待つ勇気の意味すること」、今、見させていただきました。

「しつけ糸」なるほど!って思いました。

そういう風に考えたことはありませんでした。目からうろこです。

⑦そのとおりだと思います。

それともう1つ、どうしても大人の都合で動いてしまわざるを得ない状況というものもあるかと思っています。

そのようなときに、子どもさんとしっかり折り合いをつけることができるかどうか。

このことは普段からどれだけ子どもさんと、一方的ではない、双方向的なやりとりができていくかということにかかっているのではないのでしょうか。

⑥HP拝見しました

待つ勇気の意味するものを拝読しながら、また先日からお伝え下さった事を通じて、今は、家族との触れあいや、子供たちに向ける想いが、少し肩の力を抜くことができたというか一緒に、喜んだり、怒ったり、泣いたり、できる事が嬉しいです

そこから、また一緒に互いに伸びていきたいです

⑤よく見かけるのは、子どもが泣いていても無理矢理手を引っ張って行くのに、このお母さんはしっかりした係わりの出来る、素敵な方ですね。

④NHKの生活ほっとモーニングを見て、私に会いたいと思われ、〇〇さん母子が私の京都での講演を聞きに来られ(初めて出会って)、そろそろ1年になろうとしています。

12月の出版記念パーティーで、阿部先生と同じテーブルになって、阿部先生と出会わ

れて、本当に良かったですね。

この10ヶ月、阿部先生からの細やかなアドバイスに、心より感謝いたしております。  
今後ともどうぞよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

③人の目の多い校門の前で泣く我が子に、ここまで待つことのできるのは、立派なお母さんだと思います。

たぶん、お子さんにまっすぐ曇りのない気持で日々接していらっしゃるからだだと思いますよ。

お子さんも人の気持の解る人に育つことでしょうね。

ほのぼの いいお話ですね。

②なかなか余裕がないと待てないんですよ。

ついつい、手を引っ張って連れて行ってしまいます。

私も長女のお陰で、だいぶ待てるお母さんになってきました。

“育児は、育自”とは、良く言ったものです。

このようなお母さんの話を聞きますと心が暖かくなります。

本当に素敵なお母さんだと思いました。

① HP、拝見しました。

いつも思うのですが相手が子供であっても大人であっても同じ事ですよ。人として。

なんの偏見もない真っ白な気持で相手に向いていれば本当の気持は見えるはずですよ。

親子もその辺のやりとりから信頼関係が出来ていくのかなあとと思います。

常識の目がねで見がちです。特に親は。

常識に捕われると真実が曇ることがあると思います。日々反省の自分です。

【記事を目にしてのお母さんご本人からのメール

(注：記事に引用させていただくことは、前もってお母さんから承諾済みでした。)

〇〇さんに始めてお会いしましてそろそろ 1年になるんですね。信じられません・・・  
時間を早く感じられます。

そしてあの日阿部様と同じテーブルになって出会いがあっただけから、もう少しで1年が  
来るのですね

本当に時の流れを早く感じます。

今私がいつも心穏やかに（子どもの事を）かわいく愛おしく思えるのも 阿部様の心温  
かいメールのお陰だと思っています。

本当に心より感謝しております。

人から支えられ 励まされ そんなありがたいものはないですね。

私も人を支え励ましてあげられる様な人になれたらと思っています。 】